

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	子どもが健やかに育ち、高齢者がいきいきと活躍できるまちづくりプロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の人口は、昭和41年から始まった団地建設に伴い、昭和55年にかけて人口が約4倍に急増した。その後、昭和61年から人口が減少し、平成17年以降はほぼ横ばいになっている。 大規模の団地建設とともに京阪神のベッドタウンとして発展してきたまちも、少子化の進行と相まって高齢化が着実に進んでいる。平成26年8月1日現在の高齢化率は26.9%。 高齢者が住み慣れた地域で安心した日常生活と社会参加ができるような環境をつくる必要がある。 一方、近年の宅地開発などにより転入してきた子育て世代の定住に向けて、本町が持つ地域の特性を十分に活かした魅力あるまちづくりが必要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>子どもが健やかに育つ環境を整えることで若年代の定住を促す。また、子どもや高齢者が安心した日常生活を送れるような環境を整える。</p>							
	総事業費（千円）	14,811	本年度事業費（千円）	14,811	交付金額（千円）	2,500		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	保育所施設整備事業	交付対象事業	保育所敷地内埋設ガス管交換工事を実施			保育所2園で実施		
	町立小学校特別支援教育支援事業	交付対象事業	教室の改修工事を実施。各校に特別支援教育支援員を配置。			教室の改修工事：1校 特別支援教育支援員を配置：2校		
	緊急通報装置給付事業	交付対象事業	高齢者の自宅に、緊急時に消防署へ直結する通報装置の本体及び設置工事費用を助成（全部または一部）。			緊急通報装置数：75台		
	高齢者元気づくり推進事業	関連事業	70歳以上の高齢者を対象に、敬老の記念式典や行事を開催。			参加者：約400人		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	緊急通報装置数：77台		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		緊急通報装置数：75台		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	年度当初の実績が70台、新規設置は9台あったが、死亡・転出等による廃止が4台あり実績値となった。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）				
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	敬老行事参加者数：約400人		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		敬老行事参加者数：約400人		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	会場の都合から目標値が最大であり、今年度は満員状態となった。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）		（時期）				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>緊急通報装置の設置によって、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えることができた。また、敬老行事へ参加することにより、外出の機会や人との交流の場を設けることができ、社会参加への促進が図れた。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>その他の成果</p>	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p> <p>保育所2園において、経年劣化している保育所敷地内埋設ガス管を交換し、保育所施設の安全管理に万全を期すことができた。</p> <p>また、特別支援を要する児童が増加傾向にあることから、本改修工事を実施することによって学習環境の整備を図り、教室不足解消へ繋げることができた。加えて、特別支援教育支援員を配置することによって、児童の安全確保及び個別支援が可能となり、きめ細やかな教育体制の構築を図ることができた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。